

## 2006 年度高校入試情報 都立日比谷高校

今年度の都立日比谷高校の合格最低点は、5 教科 500 点満点で 370 点でした。事前の説明会で、過去の入試で 350 点以上の不合格者はいないという話がありましたので、350 点以上の得点で不合格となった 80 人以上の受験生は納得のいかなかったことでしょう。4 月になっても日比谷高校に問い合わせの電話があるというくらいですから。内申点と合わせた総合得点で合否が決まりますので、360 点台で合格した受験生もいたようですが、内申の 1 点の重み、試験の 1 点の重みを痛感させられた入試でした。

館山塾では、日比谷高校を受験した生徒の本人予想得点と実際の結果の調査を毎年続けています。その結果から、日比谷高校の記述問題の採点方法が大体見えてきました。英語・数学・国語の 3 教科に関しては、一人の例外もなく入試の得点が本人の予想より高い結果になっています。10 点前後から、生徒によっては 20 点近く高くなっています。これは特に数学について顕著に現れていました。生徒本人は不正解だと 0 点として予想しますが、実際の採点は途中の過程・記述にかなりの得点を与えているということが言えます。

だからと言って、何でも書けば良いという訳ではありません。正解にアプローチする記述、筋道だった組み立て、罫線のない答案用紙に整然と書かれた文字・数式、これらが満たされて始めて採点対象となるのです。ですから、普段から答えだけではなく、途中の過程、答えにいたる根拠等を常にノートに整然と記述する習慣をつけておくことが日比谷高校をはじめとする自校作成校の入試の対策と言えます。